

田園交響楽 (1946)

LA SYMPHONIE PASTORALE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 108分

初公開日 1950/04/22

公開情報 S E F = 東宝

【解説】

雪景色の田園。老婆の死によって孤児となった盲目の少女は村の神父に引き取られた。彼女はジェルトリュートと名付けられ、家族同様に教育され美しく成長する。分け隔てなく…のつもりがいつのまにかひいき目に見てしまう神父。そんな様子に妻は嫉妬しているが、嫉妬心を持つのは罪なので、非難されるのを恐がって何も言えない。やがて上の息子のジャックが留学から帰ってくる。聡明で音楽の才能もある彼には、ピエットという幼なじみがいていずれ婚約することになるのだが、ジェルを一目見て恋に落ちてしまう。神父はジェルとの結婚は許さないと、自分の本当の気持ちを告白した。ハロウィンのピクニックの日、彼女の生まれて初めてのダンスをジャックがエスコートする。人々は好奇の目で2人を囲んだ。ある日神父は妻と話し合ううち、情けをかけてやることよりジェル目を治してやることのほうが大事に思えてきた。既にピエットがジャックとのことを公平にしたいがため、医者の手配を進めていた。そして彼女の目は手術で見えるようになる。最初に会いに来たジャックと思わずキスしてしまうジェルだったが、それは彼女の想う人ではなかった……。人々が道徳心と本心との葛藤に苦しむように、どうしてもこの場合、誰もが正しい人にはなりえない“不幸”な状況がある。ラストの神父の台詞は罪深いと言えるのか。文豪アンドレ・ジイドの同名小説を映画化した悲恋物語の名作。

【クレジット】

監督	ジャン・ドラノワ	Jean Delannoy
原作	アンドレ・ジイド	
撮影	アルマン・ティラール	Armand Thirard
音楽	ジョルジュ・オーリック	Georges Auric
出演	ピエール・ブランシャール	Pierre Blanchar
	ミシェル・モルガン	Michele Morgan
	ジャン・ドザイー	Jean Desailly
	アンドレ・クレマン	Andree Clement
	リーヌ・ノロ	Line Noro